



階	官	本	隊
---	---	---	---

初期口演

准士官下士官教育ニ於ケル部隊長所見

北谷國一校

現下ニ於ケル状況

敵ノフツリヒン侵入ト機動艦隊ノ活動

南西諸島被襲ノ公算大ニシテ緊迫シアリ

油断ハ不許(日々丙莠戦備)

從テ築城ト併行訓練重西

ペリリウ島戰闘ハ神技ニ近シ

日々ニ於ケル状況推移ヲ刻明ニ纏述

此間ニ教訓ヲ自ラ掴メ

長時日ノ抵抗

困苦缺乏堪忍

創意工夫ト敢闘精神ノ旺盛

決死ノ斬込隊ハ神技ナリ

戦果莫大

増援ノ可能ト包圍下圍ヲ破ラテ合併

出陣ノ運搬ハ如何ニセシヤ

我等ノ為メ多カリ

問題ノ所見ト我等ノ對策

對戰車戰闘ノ所見
九三式戰車地雷ヲ以テスル攻撃
玉碎精神ノ必要



地雷構造ヲ考ヘ何處ヘ用之ヘキカ 投入ノ箇所

官士下	
中	下
中	下

特異ヲ拒トテ勇烈ヲ示シテ人ヲ驚コセシムルヲ要ス

恐ルニ足ラス 馬鹿ニスル勿レ

模倣ノ實際近ク訓練ノ必要

モ居テ觀覽モ總テ入ラハ真ニ悲喜感生ス

3 體操指導

正確ナル動作ヲ行ヘ 然ラサレバ目的ヲ達セズ

背ノ運動

或ル行動ノ準備ヲ爲シテ行フ運動ノ實地法

至短時間ニテ行ハルニ必須ナル準備トナル様

跳躍運動ヲ屢々行ヘ 應用ノ器具ヲ以テ應用體操ノ勵行ノ素地ヲ養成

4 結

實行ノ活潑範ニテ指導ナセヨ

零細ナル時ヲ盜シテ訓練セヨ

簡單ニ行ヘ 回数ヲ多クセヨ

多忙ナル時トハイハ勝ツ爲ニ十暇ヲ惜ミ鍛練ヲ精進セサルヘカラス

石九六日命第一三六號
石第三五九六部隊日々命令
十一月二十三日
北谷國民學校

一 第四中隊 陸軍衛生一等兵 小林 政吉

二 右者大隊本部 陸軍醫務少佐 柴正治

三 右者築城材料受領ノ爲本二十三日即日歸隊豫定ヲ以テ

洞窟及地上補備施設作業指導ナリ石十五夜第五三號ノ如ク

會合ス

依テ各隊長ハ專習員ヲ明二十四日ロ七五口迄ニ大隊本部ニ差出

シ指導ナラ受ケシムベシ

官士下	
小	中
中	下



隊長	副官	附	
----	----	---	--

下	士	官
小	大	少
少	大	少
少	大	少
少	大	少
少	大	少
少	大	少
少	大	少

右者依團ニ於テ實施セラル、犯罪豫防教育被教育者ヲ命メ、依テ十月二十五日、十月三十分迄、北公國民學校ニ集合シ、申告後、先任者指揮ヲ以テ一四〇迄、喜舍湯國民學校ニ至リ、該教育ヲ受ク

- 五 陸軍醫務部長 江崎熊雄
- 六 陸軍一等兵 三田鐵美
- 七 陸軍一等兵 山本新助
- 右者業務連絡 爲メ、十月十四日、即日歸隊ノ豫定ヲ以テ、石第一八二部隊病馬廠ニ出張シ、命メ
- 右者石第一八二部隊衛兵隊勤務ヲ免メ
- 命第一中隊 陸軍上等兵 山本新助
- 右者石第一八二部隊衛兵隊勤務ヲ免命ス（十月二十日附）

山内前陣藥集積所衛兵服務規定 昭三九二一三四 石第一三五九六部隊

一本規定以外事項ニ関シテハ軍隊ニ此衛兵ハ山内前石兵團藥集積所衛兵ニアル

フィリッピン東方追加戦果

大本營 十月三十一日 十六時三十分發表

神風特別機攻撃隊ハ十月二十四日以來、フィリッピン東方海面（レイテ湾ヲ含ム）敵機動部隊ニ輸送船團ニ對シ、連續必死心中ノ猛攻ヲ加ヘ、アリ、同隊收メタル戦果中、現在迄ニ確認セルモ、左ノ如シ

裏 述 裏 皮

戰果發表 (石第三五九六部隊)

神風特別機攻撃隊ニヨル新ナル戦果迄ニ
 フイリッピン東方追加戦果

大本營 十月三十一日十六時三十分發表

神風特別機攻撃隊ハ十月二十四日以來
 ツピン東方海面(レイテ湾ヲ含ム)敵機動部
 隊迄ニ輸送船團ニ對シ連續必死必中ノ
 猛攻ヲ加ヘツアリ、同隊收メタル戦果中
 現在迄ニ確認セルモノ左如シ

真沈 航空母艦 三隻
 航空母艦 一隻
 巡洋艦 一隻
 輸送船 一隻

同フイリッピン東方追加戦果
 真沈

真破 航空母艦 二隻
 巡洋艦 二隻
 駆逐艦 三隻

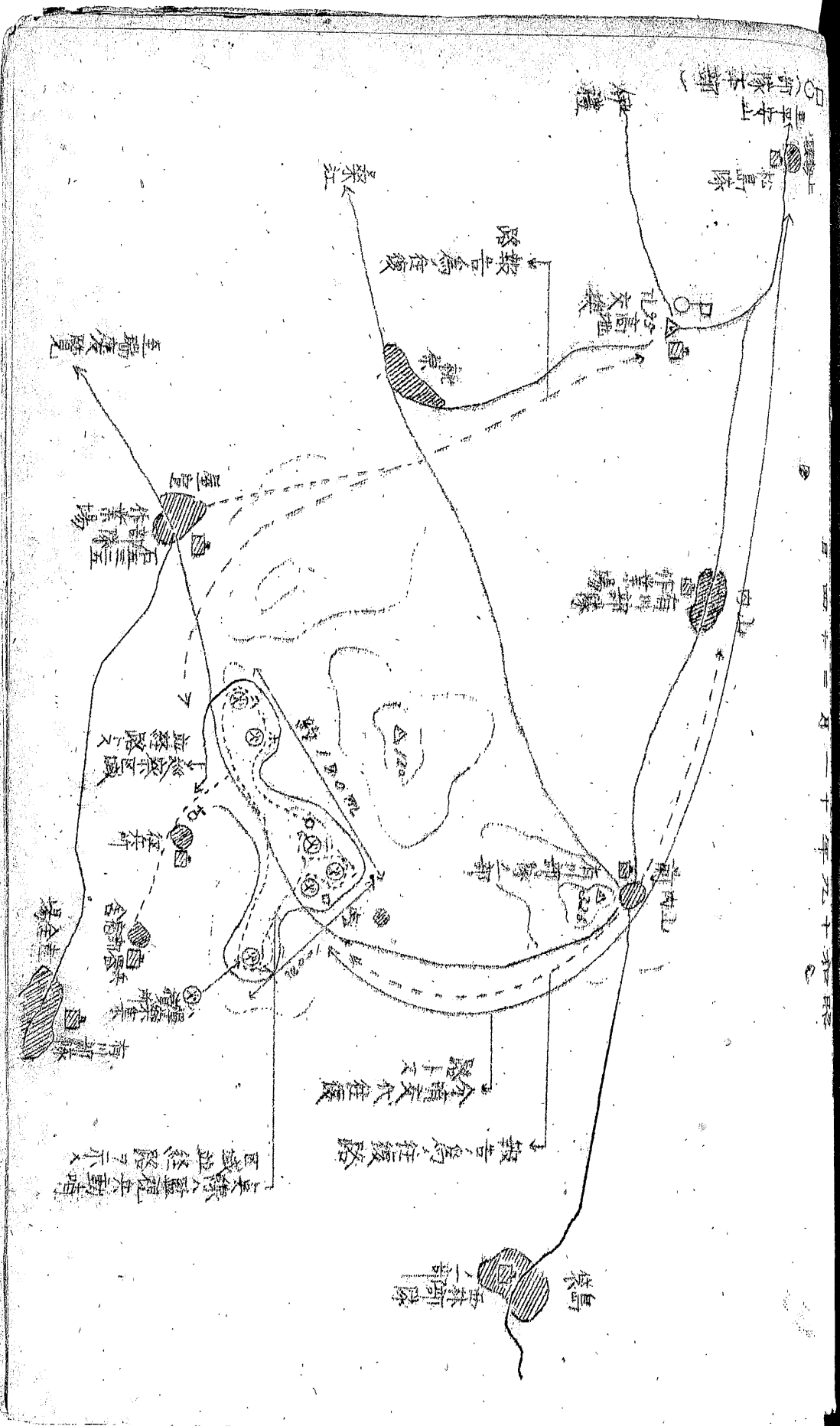
航空母艦 六隻
 航空母艦 二隻
 巡洋艦 二隻
 輸送船 一隻
 艦種不詳 三隻

別紙

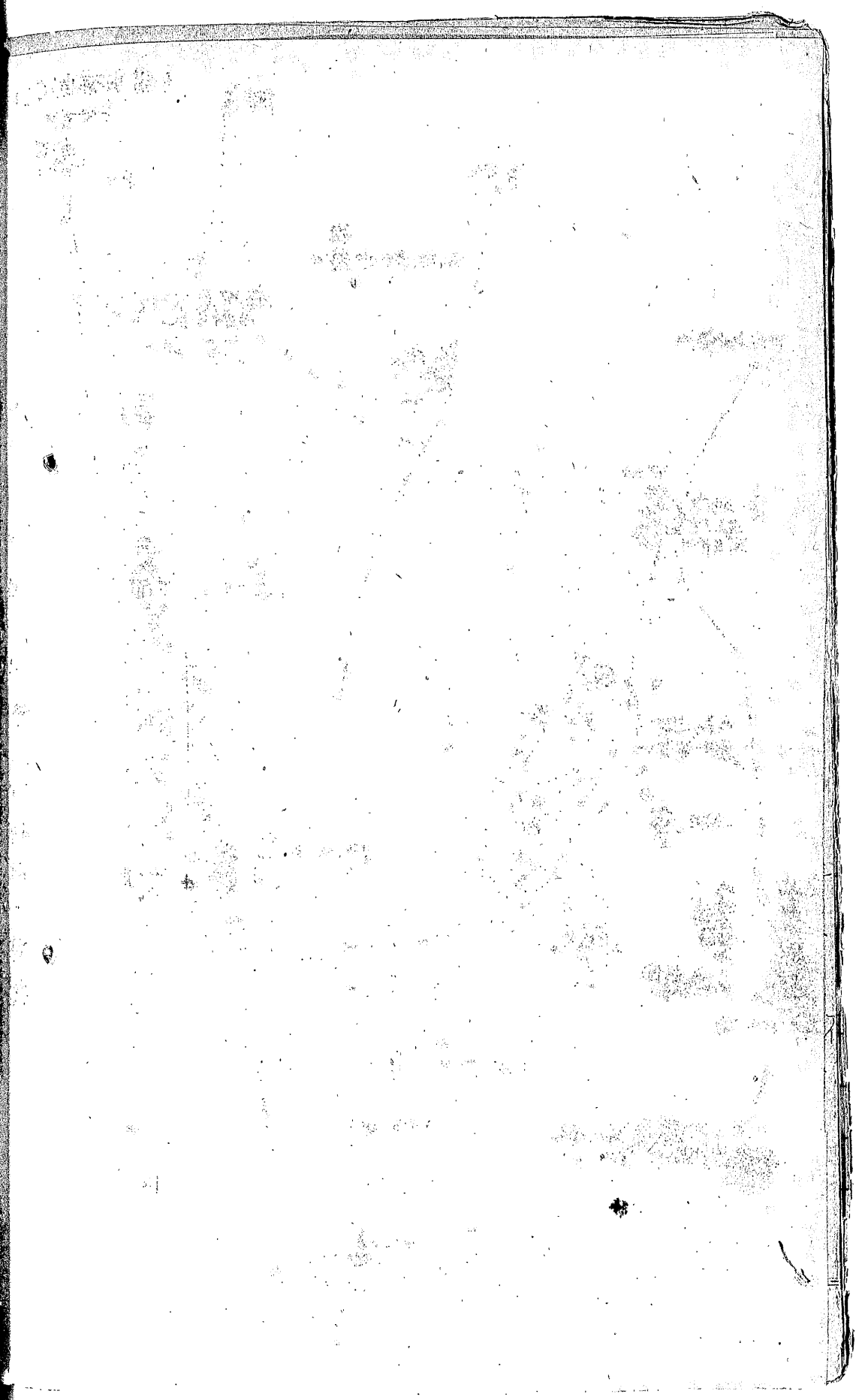
山内前線集積所衛兵勤務割表

昭一九一、二、四

司令官	少調	12.23
係補	哨步	12.30
司令官	4調	12.16
係補	哨步	12.23
司令官	3調	12.9
係補	哨步	12.16
司令官	2調	12.2
係補	哨步	12.9
司令官	1調	11.25
係補	哨步	12.2
服務中隊	週煩及期間	



五月二十一年六月二十一日





石九六日命第一三八號
石第三五九六部隊日々命令

北谷國民學校

右者航空部隊要員選抜試驗受驗者
歸隊豫定ヲ以テ石第四三一部隊出張命
服装ハ軍装トス
陸軍衛生軍曹
橋本 重男
本二十五日即日

右者要務連絡ノ為本二十五日即日歸隊
豫定ヲ以テ師團軍
醫部出張命
橋本 重男
本二十五日即日

陸軍上等兵ヲ命ス
陸軍一等兵
白比野六郎
（冠月野日都）
三橋儀高
治

第一中隊 陸軍一等兵
第二中隊 同
第三中隊 同
第四中隊 同
第五中隊 同

右者陸建第五三號
依リ兵精勤章ヲ附與
（十一月二十日附）
小倉田信
治

（十一月二十日附）



隊長	副官	附
----	----	---

石九六日命第一四〇號

石第三五九六部隊日々命令

北谷國民學校

一 十月十七日左記通發令セラル

補 獨立歩兵第十五大隊中隊長 陸軍中尉 房 出

補 獨立歩兵第二十九大隊附 陸軍中尉 北川 哲 一

補 獨立歩兵第十五大隊中隊長 陸軍中尉 上野 昇 次

補 獨立歩兵第十五大隊附 陸軍少尉 今井 通 忠

補 獨立歩兵第三百六十五大隊附 陸軍一等兵 中川 孫 太郎

右者歩兵第五百一聯隊補充隊(中部三〇部隊)轉屬ヲ命

昭和十九年第一年度下士官候補者集合教育(本三十七日ヲ以

テ終了ス)

依テ下士官候補者ハ明二十八日朝食後教育要員ハ明二十九日

夕食後夫々原所屬ニ復歸スベシ

右者兵器返納並要務連絡ヲ為本三十七日即日歸隊豫定

ヲ以テ嘉敷教團團兵器部ニ出張ヲ命ス

右者本三十七日即日歸隊豫定ヲ以テ退院患者受領ヲ為

上田正巳

岡田晴男

岡田晴男

岡田晴男

岡田晴男

岡田晴男

岡田晴男

岡田晴男